

こおりやま広域圏若手職員の新しい発想
チャレンジ「新発想」研究塾
を開講します



ターゲット 17.17

令和2年7月10日

郡山市政策開発部

政策開発課

担当：高橋 諒

TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

こおりやま広域圏の若手職員を研究塾生とする、チャレンジ「新発想」研究塾 2020 を開講します。今年度は、「新しい生活様式」に対応したオンライン手法の導入や提言内容の試行に挑戦します。

研究塾のスタートにあたり、下記により開講式を行います。

- 1 日時 7月16日(木) 午後1時30分～午後2時
- 2 場所 市役所特別会議室（本庁舎2階）
※こおりやま広域圏 16市町村をオンラインで結び開催
- 3 内容 研究塾の塾長である市長から講話を行います
- 4 出席者 郡山市長（塾長）
こおりやま広域圏の若手職員 24名
（郡山市6名、須賀川市1名、二本松市1名、田村市5名、本宮市2名、大玉村1名、鏡石町2名、石川町3名、三春町1名、小野町2名）

※チャレンジ「新発想」研究塾の詳細は、別紙をご参照ください。

「新しい生活様式」対応型
こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2020
開講式 次第

日時：令和2年7月16日（木）

午後1時30分～午後2時00分

- 1 開会
- 2 研究塾生紹介
- 3 郡山市長（塾長）講話
- 4 閉会

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2020 研究塾生一覧

① まち分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	勤務年数
1	郡山市	建設交通部 総合交通政策課	主事	原 貴史	はら たかふみ	4
2	須賀川市	企画政策部 企画政策課	主事	相川 貴之	あいかわ たかゆき	8
3	二本松市	総務部 秘書政策課	主事	永久保 早紀	ながくぼ さき	2
4	田村市	市民部 税務課	主事	遠藤 慶記	えんどう よしき	4
5	田村市	大越行政局	副主査	二瓶 幸也	にへい ゆきや	12
6	石川町	企画商工課	主事	古寺 里冴	こでら りさ	1

② ひと分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	勤務年数
1	郡山市	市民部 市民・NPO活動推進課	主査	秋元 貴亜樹	あきもと たかあき	6
2	郡山市	議会事務局 総務議事課	主事	今野 遼太	こんの りょうた	7
3	田村市	保健福祉部 社会福祉課	主事	岩崎 祐衣	いわさき ゆい	4
4	本宮市	白沢総合支所 市民福祉課	副主査	橋本 拓郎	はしもと たくろう	8
5	大玉村	総務部 政策推進課	主事	増子 光	ましこ ひかる	2
6	三春町	生涯学習課	主事	松本 未智瑠	まつもと みちる	8

③ しごと分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	勤務年数
1	郡山市	総務部 職員厚生課	主事	高岡 景	たかおか けい	7
2	田村市	市民部 生活環境課	主事	大川原 一博	おおかわら かずひろ	9
3	本宮市	放射能除染・モニタリングセンター	主事	高橋 亮	たかはし りょう	3
4	鏡石町	産業課	副主査	仲沼 諒	なかぬま りょう	8
5	石川町	農政課	主事	小豆畑 裕	あずはた ひろし	7
6	小野町	町民生活課	主事	大和田 和	おおわだ なごみ	5

④ DX分野

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	勤務年数
1	郡山市	保健福祉部 生活支援課	主事	遠藤 瑞己	えんどう みずき	7
2	郡山市	保健福祉部 健康長寿課	主事	會田 智恵	あいた ちえ	3
3	田村市	市民部 生活環境課	主事	橋本 桂吾	はしもと けいご	8
4	鏡石町	総務課	主事	増川 夕夏	ますかわ ゆか	3
5	石川町	企画商工課	主事	矢内 翔太	やない しょうた	3
6	小野町	健康福祉課	主事	吉田 浩太郎	よしだ こうたろう	7

「新しい生活様式」対応型こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2020について

1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上を目的とした研究塾です。

2 研究塾2020のポイント

- (1) 「こおりやま広域圏連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員 24 名で圏域全体の課題解決に挑戦。
(郡山市 6 名、須賀川市 1 名、二本松市 1 名、田村市 5 名、本宮市 2 名、大玉村 1 名、鏡石町 2 名、石川町 3 名、三春町 1 名、小野町 2 名)
- (2) 「新しい生活様式」に対応するため、オンラインを中心とした手法で調査研究を実施。
- (3) 提言内容の具現化に向けた試行の実施。
- (4) 研究分野【広域圏連携で解決すべき課題への取組み】
 - ① まち分野 (一度都会に出て戻って暮らしたくなる魅力的な地域づくり)
 - ② ひと分野 (ひとの縁を結び、まちを元気にする交流の活性化)
 - ③ しごと分野 (多様な人材の活用を支援し、地域の活力維持に繋がるしごとの創生)
 - ④ DX分野 (Society5.0、5G時代に対応したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進)

3 メンバーの構成

- (1) 年齢 概ね 35 歳以下の職員 (令和 2 年 4 月 1 日現在) ※公募により研究生を募集
- (2) 構成
 - ・班構成：1 班 6 名 (班長 1 名、副班長 1 名、班員 4 名)
 - ・班数：4 班
 - ・研究塾の代表・副代表各 1 名を選任 (班長・副班長以外から選出)

4 進め方・スケジュール

- (1) 研究テーマの設定
- (2) 討議 (調査研究) : 週 1 回程度、
 - ・ウェブ会議を中心に実施 (2 時間程度、原則水曜日)
- (3) 報告会の実施
 - ・リサーチ編：10 月、トライアル編：2 月

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬
開講式・テーマ決定				全体会		中間報告会		報告会開催		全体会			中間報告会		報告会開催
	＜リサーチ編＞ 調査・研究								＜トライアル編＞ 具現化に向けた試行						

5 研究成果

- (1) 調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (2) 報告会の実施 (YouTube での配信)
- (3) 事業化に向けた関係部局との調整

【参考：これまでの成果】

- ・イクメンハンドブックの発行
- ・育パパサポート奨励事業
- ・移住・定住ポータルサイトの開設
- ・官民連携ポータルサイトの開設
- ・広域圏での業務連携 (「令和元年東日本台風」での相互応援)